京都労山

2023年11月号

No. 365

発行日
2023年10月16日

発行所:京都府勤労者山岳連盟 発行者:田原 裕 編集製作:機関誌委員会 発行:毎月第3月曜日

所在地:〒.616-8042 京都市右京区花園伊町4 ☎.075-275-0453 FAX.075-468-1793
【ホームページアドレス】 http://www.dab.hi-ho.ne.jp/kyoto-rozan
【E メールアドレス】 kyoto_waf@dad.hi-ho.ne.jp

京都府勤労者山岳連盟

京都労山『六つの合い言葉』

（一）　私達は、山を勤労者の身近なものにする為に力を合わせよう。
（二）　私達は、登山によって健康な身体と豊かな心を育てよう。
（三）　私達は、登山によって助け合う心と友情を深めよう。
（四）　私達は、多くの人達と交流し山を愛する仲間を増やそう。
（五）　私達は、力を合わせ正しい山のモラルと高い技術を生み出そう。
（六）　私達は、安全で確実な登山思想を身につけよう。

11 月号目次

＊　六つの合い言葉・目次
＊　ステップアップ 組織拡大委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０１
＊　事務局長会議報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０２
＊　自然保護セミナーの報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０３
＊　自然保護セミナー参加者の感想 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・０６
＊　冬山連絡会の案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０９
＊　クリーンハイク実施 報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
＊　救助隊臨時総会で出された意見 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
＊　＜寄稿＞救助隊解散に寄せて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
＊　公開ハイキング・天下峰の山行報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・１５
＊　女性委員会山行案内・蛇谷ヶ峰 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
＊　女性委員会山登り講座の報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
＊　青年委員会クライミング体験会の報告 ・・・・・・・・・・・・・・・２１
＊　大文字山登山道整備の案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２
＊　ココヘリとドローンを使った捜索訓練の案内 ＜大阪労山＞・・・・２３
＊　近畿ブロック雪崩講習会の申し込み書 ・・・・・・・・・・・・・・・２４
＊　2024 年カレンダーの申し込みについて ・・・・・・・・・・・・・・・２５
＊　連載企画・日本二百名山登頂シリーズ第 26 回㉖仙ノ倉山・・・・・２７
＊　連載企画・日本二百名山登頂シリーズ第 27 回㉗戸隠山・・・・・・２８
＊ 11 月号の案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９
＊ 連盟月間予定表「カレンダー」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・裏表紙

生命を大切にする登山観を身につけよう

警察庁の調べによる今夏、7～8 月に全国各地で発生した山岳遭難は 738 件、遭難者数は 809 人といずれも過去最多となったことが報じられました。

９月以降も事故は減るどころか、連日にわたって転落・滑落等による死亡事故、負傷事故のニュースが飛び込んできます。山岳遭難事故は新型コロナの影響もあり一時は減ったものの、今年は異常な多さです。コロナ下での外出制限が緩和され、それまで自粛していた人たちが余暇の行動として登山・ハイキングに向かったことも大きな一因として挙げられています。

日常的に登山を楽しむ人たち、また山の会の活動を続ける私たちにとっても他人事と済ますわけにはいきません。安全に登り、怪我なく帰ってきてこその山登り、家族・仲間を悲しませるようなことがあってはならないのです。

遭難者は中高年層が大半を占めており、遭難事故の内容を見るに、60 代・70 代が多いというのはうなずけます。私も含めその世代ともなれば体力の低下は否めません。さらに持病を抱えながら山登りを続けている人も少なくないと思います。

また「昔取った何とか」まだ登れるだろう…とか、テレビの山番組に刺激され「あんな山に登ってみたい」自分にも行けるだろうと登山を始めた方もあるでしょう。
しかしこの世代は「過去の経験」や「何とかなるだろう」は通用しません。山はお年寄りに優しい世界とは無縁、“**自分の身は自分で守る**”という自己管理・自己責任が求められます。

何がどれだけできるか、何ができないか自己の能力を把握することが安全登山を続ける第一歩。事故は不可抗力の場合を除き、自分の能力の限界を見誤る、過信した時に起こりがちです。自分の実力、到達点を見極め、めざす目標と対峙できる力をつけていきたいと思います。そうした向上心こそが我が身を守る最大の武器です。

登山経験が浅いうちは行きたいという気持ちが先走るのが心情。そこで行きたい気持ちとそれに見合うレベルとのギャップを埋めるのが山岳会の役割、使命です。入会者の多くはそこに山岳会の存在価値を求めてきます。

登山において仲間や自身の安全、生命を守ることは労山の最も基本的な活動として掲げており、京都では「六つの合言葉」にうたい込められています。

組織拡大委員会　大江　六夫

事務局長会議報告　（各会と連盟の活動報告・意見交換・情報交換を目的に開催）

10 月度会議：10 月 3 日(火)WEB 会議　出席 6 労山　　報告（右京、乙訓、山城）

・出席は、洛中、亀岡、西山、伏見、左京、やましな、連盟から１人

各会の活動状況(前月の例会や集いの実施状況・予定等)[各会・クラブ機関誌参照]

・[右京]＜例会＞9/3 京北一周トレイル①細野～亀ノ甲橋７人、24 金比羅クライミング６人、29 右京の集い(飲み会)京都駅前酔心 14 人＜予定＞10/18 西山トレイル②小塩山、29 武奈ヶ岳＜その他＞10/29 山の集い「金比羅岩稜トレ」

・[やましな]＜例会＞9/20 鞍馬～貴船ハイキング９人,24 武奈ヶ岳 13 人、30 バスハイク説明会 23 人＜予定＞10/21～24 安達太良山・一切経山、22 バスハイクトレ大文字山＜その他＞個人山行でスマホ電池切れ、下山報告できず。充電器と紙必要性再確認。学習部山行予定（11 月、焼杉山　読図と緊急時対応を復習）

・[西山]＜例会＞9/１ぐるぐる天王山 21 人、10 新入教室・山行計画会議３回目２８人、15～17 磐梯山・安達太良山８人＜予定＞10/1 公開バスハイク青葉山 20 人、17 ワクワク天王山＜その他＞10 月 21～22 日特別山行あうる京北北山８コース６８人参加予定、11 月１９日５コース集中登山西山キャンプ場救急法を学習

・[左京]＜例会＞9/18 滋賀八幡山７人＜予定＞10/21 福井・小原峠～赤兎山＜その他＞9/27 ミーティング「軽量化について（岳人８月号）」フリートーク７人

・[乙訓]＜例会＞9/２～４剱岳４人,17 奥比良地蔵岳・釣瓶山 20 人、16～18 甲斐駒・仙丈ヶ岳テント７人＜予定＞10/8 泉南・飯森山,14 鈴鹿鎌ケ岳、24 奥池～甲山

・[洛中]＜例会＞9/9 金比羅クライミング９人,16 六甲山 12 人＜予定＞10/７摩耶山、17 京都トレイル清滝～苔寺＜その他＞秋のワンデイハイク丹波白髪岳２５名参加

・[伏見]＜例会＞９月大文字トレ５回延べ２１人、やまびこ６回,10 日１５周年記念公開ハイク「大文字山」14 人,17 京都トレイル⑦山幸橋～高尾 11 人＜予定＞10 月８日公開ハイク比叡山,22～24 石鎚山・笹ケ峰＜その他＞「全国ハイキングリーダー学校」（高齢者登山のあり方）の実践―高齢者の身体と登山　奈良労山豊田ふみよ先生（元奈良県立医大医学部准教授）の講演―に参加した。

・[山城] ＜例会＞9/13 経ケ峰三重県 4 人,24 中山最高峰～北摂大峰山８人＜予定＞10 月 7 日～9 日乗鞍岳,14 多紀アルプス御嶽・小金岳,24～２６瑞牆

・[亀岡] 30 周年白川郷へ。18 人参加予定。

連盟の取り組み、活動報告　（連盟の取り組みや活動状況を連盟事務局から報告）

・救助隊一旦解散。来年３月までは、準備会（常任理事会下）で活動。新救助隊発足の準備を行い、各会へは、新しい遭対部員への参加を要請する。

・2024 年全国カレンダーの注文方法について、相談協議する。

次回１１月７日（火）事務局長会議 pm７時半開始は WEB のみで開催します。

報告　　2023 年　自然保護セミナー　　自然保護委員会

テーマ「北陸新幹線延伸計画の環境問題を考える」

講演　長野宇規氏

「知井の新幹線問題を考える有志の会」

南丹市美山町田歌在住、神戸大学准教授

日　時：9 月 2 日(土)　13：30～16:30　　京都教育文化センター302 号室

参加者：会場 68 名、ＷＥＢ13 名、長野氏、京都新聞記者　　合計 83 名

＜会員＞委員以外⇒左京 8、乙訓 2、やましな 4、洛中 2、右京 1、伏見 3、西山 1、らくなん 2、　　計 23 名

＜一般＞⇒新婦人 3、伏見ミーテイング 4、いいまちネット東山 1、年金者組合 1、婦人民主クラブ 1、錦天満宮 1、左京 5、右京 2、下京 1、中京 1、伏見 1、亀岡 1、美山 1、未記載 22

計 44 名

＜労山＞⇒全国連盟 1、大阪 2、兵庫 2　　計 5 名

＜委員＞⇒やましな 2、左京、洛中 2、乙訓、西山、らくなん、田辺　計 9 名

合計 81 名

●多くのみなさんに参加頂きありがとうございます。
今回、初めてＷＥＢ視聴も行い、開会までお待たせしました。

●講演概要：当初は米原ルートだったのが、建設費 3 倍の小浜・京都ルートに変更された。決めた理由は、政府ではなく、与党プロジェクトチームが決めたことなので公開しなくてよいとしている。人口減少の実態があるのに、2040 年も同じ人数が利用すると想定している。2016 年の見積もりの 2 兆 1000 億円は大幅に増加する。正式な費用は、建設認可時に計算される。過少な見積もりは国の過失となり納税者である国民に損失をもたらすので追及すべき。責任者は誰か明らかにすることが大事。環境面でも、残土処分は環境影響評価の対象になっていない。

残土はどこに置くのか?
シールドマシーンで出た残土は、亀岡に処理工場が建設される予定があるが、北海道新幹線のように受け入れ先を決めずに工事をはじめることを防ぐ必要がある。斜坑のヤードに長時間放置される例が多い。

高木与党プロジェクト委員長は、環境影響評価の準備書公開から建設認可(1年半程かかる)を考えれば2024年度着工も厳しいと報告。今年国交省が脱法的な予算を12億3500万円つけ、京都市内の公的な場所7ケ所のボーリング調査を8月から12月中にすると発表した。(ルート不明なのにどうして調査をするのか?)
石川県では、米原ルート再考の訴え。南丹市美山町知井では住民自治の運動が実を結び”建設連絡協議会(仮称)設置が採択され、今準備段階との報告がありました

●その後、事前に寄せられた質問に答えられました。

※環境影響準備書で初めてルートが公開される。準備書に対する意見書の提出は、市民の意見表明の最後の機会で準備書公表から1ケ月以内。

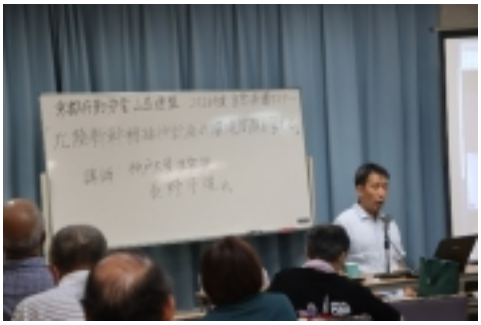
※準備書発表に向けてできることは?
多くの市民に関心を持ってもらうこと(ネットワークの構築)。意見書提出するにあたり専門家の解説が必要。意見書は反対を唱えるものでなく環境影響評価の不備を指摘し、検討方法の再考、追加調査求めること。

●交流タイムの発言、質問への回答

※かつて、山陰線トンネルの斜坑から出た残土は、小倉山の仮置き場が最終処分地として京都市は了解した。それを見据えた運動が大事。現在、神奈川県ではリニアの残土を貨物に乗せて川崎などに運んでいる。今年12億円を使って調査する梅小路の貨物場も大阪のカジノに運ぶなど同じようになるのではないか?

※新幹線計画への反応は、福井・石川等各県によって地域差がある。

※ＷＥＢでの参加者から費用負担の件等質問もありました。商売をしている人は、地下水のことで反対が言いにくいが、懸念が出ている。住民自治が大切。力になる。選挙は意見表明に。



●最後に長野先生から、建設費の自分の負担はいくらになるのか?2 兆 1000 億円とすると、納税者 7000 万人だとして計算すると 1 人当たり 28000 円の負担することになる。それだけの負担をしてまで北陸に行きたいか!国は軍事費の負担もある中、住民に負担させて走らせる。この視点で考えてみることも大切ではと話されました。そして「北陸新幹線計画中止の知事・市長さんを選ぶことが最も効果的」と話を締めくくられました。
長野先生ありがとうございました。大変わかりやすくお話しをして頂きました。参加されたみなさん、長時間ありがとうございました。

やましな山の会　　射場寿美子

・計画推進をねらう与党プロジェクトチームは、脱法的な環境アセスが未了で国の認可もおりていないもとでの、2023 年春工事着工を国交省に求め予算化を要求していましたが認められず、2024 年度予算でも困難な状況です。地元新聞の世論調査では、「推進」が 3 割に届かず、「再検討すべき」「不要なので中止すべき」が合わせて 6 割を超えています。アセスの遅れ、府内の見直し・反対の声の広まり、気候変動など計画時との状況変化をふまえ、一旦立ち止まって見直すことが求められています。
・しかし、この問題をまだ知らない府民の方がおられます。環境の破壊を許さず、京都の豊かな自然を守り次世代に引き継ぐため、この問題を知らせ大きな世論をつくるため引き続きとりくみを検討しています。

＜お知らせ＞

「北陸新幹線 京都の地下に巨大トンネルはいらない!」パレード
が計画されています。（一旦停止を求める会、地域の会、京都労山等）

11 月 23 日（木・祝）14 時　京都市役所前集合
30 分出発　～四条河原町～円山公園

・署名に引続き取り組んでいます。
10,000 筆目標（現在 8,500 筆）ご協力よろしくお願いします。

2023年度 自然保護セミナー　参加者感想

○知らないことを知れてよかったです。でも知っただけで終わりそうなので、それではダメかなと思っています。

○資料も大きくて見やすく、話もわかりやすかったです。夜じゃないのも高齢者にはよかったかも。（視覚的にも）ここでも「カジノ」や「維新」との関係があるような話がでてきてぞっとしました。

○わかりやすい内容に納得しました。素晴らしい資料です。はなはだしい環境破壊になりますから絶対やめさせる運動を続けたい。

○たいへんわかりやすい話で、よくわかった。北海道新幹線の動き、残土、要対策土等のズサンさなどよくわかった。残土の仮置き場は要注意、最終処分場にされる可能性がある。嵯峨野線、複線電化時に、小倉山を仮置き場にし、結局最終処分地にされた経緯がある。準備書が出されたあと許可までの期間が決まっており、意見を述べることはできるが、認可までの時間が決まっている。法的な構造になっていることを前提に、見直し撤回の運動を作っていくことが大切ではないか。　　（洛中　山本）

○今までの経過問題点などをまとめてわかりやすくお話しくださり、良かったです。自然環境を守ることの大切さをしみじみ感じました。より多くの知人に今日学んだことを伝えたいと思います。

○ありがとうございました。結構ちゃんと知っているつもりでしたが、よりリアリティを持ってイメージできました。特に最近のグッドニュースとバッドニュース、その裏読みが興味深かったです。計画の杜撰なこと、原発とさも似たり、ですね。私はCO２削減は、原子力推進のためのキベンという疑いが拭えないのですが、大量の電気を使う新幹線と若狭の原発の関係も濃いですね。ところでマンガ「テツぼん」滋賀編は読まれましたか？私、切り取って持っています。コピーが榊原氏の手元にありますが。

○防災ダムへの残土の影響は初めて聞きました。西田や高木と大林組の関係はどうなのでしょう。２兆円の公共事業だと３%約600億円が闇に消えるといわれています。そのあたりのことを誰かきちんと調べて欲しいと思っています。

○友人に誘われて参加しました。計画があることは知っていましたし、反対でしたが、今回具体的にお話をうかがい、私の認識以上に、いろいろな問題があることがわかりました。まわりの人に広めたいと思います。ありがとうございました。とてもよくわかりました。

○とってもよく分かりました！問題だらけですね。関心を持ち続け、できることをしたいです。

○熱海市での盛土による土砂災害、谷を埋める残土、とても計画を認められません。名古屋、東海地方からの利便を考えると、米原ルートが最も良いと思いますが、そもそも、数10分の短縮のために、まだ多くの工事費を使う新幹線が必要ないと思います。京北自治振興会長が地域の残土処分を受け入れ、代わりに京北に駅を設置することを要望したということですが、駅の設置がされることはありえず、残土処分地だけ

が入れられることになります。住民をダマすことで、本当に恥ずかしいことと思います。小浜ルートは、原発再稼働を認める代わりに通してもらうことを小浜市周辺の自治体から要望したと聞きましたが？ 政治的な延伸だと思います。

○大震度地下は完全に破綻しています。昭和54～55年上越新幹線鶯谷工区：鶯谷～西日暮里）を施工してきた経験や、GL -40程度では外環状線の調布陥没の最高裁判決は明らかに受け入れないと思います。（ここまで工事施工しているので、大泉まで施工させてくれか）線形ルート（平面図と縦断図）にて、概要は私なりに作成しています。（約1年前）①As bailt 京都地下鉄は避ける必要がある。②シールドマシンを泥土→泥土工法＋補助工法（面板治山の自立させるため）③残土運搬及び搬出先などが多く意見交換をしたいと持っています。

○たっぷりと時間をとってもらって、改めてこの問題を整理することができました。それにしても問題だらけの計画ですね。まずは、一体誰が計画を決定したのか？ 与党のプロジェクトチーム？ いったい誰だよそれは？ 失敗したら、誰が責任とるんだよ？って思います。悲しいほどに、市民の声や、専門家の声が無視されています。それでも、声を上げていきましょう。　（左京　土井利恵子）

○北海道新幹線工事の、汚染土の扱いのスライドを見て、背スジが寒くなる思いでした。前の国会で、不条理な法律がシャンシャンと成立しましたけれど、この問題も、「通りは通らない」「絶対多数の世論での対抗」と覚悟を決めてかからないとダメなのですね。

○昨日は色々な不条理をなことを知り、勉強させてもらいました。

○参加された方々の熱意を感じました。長野さんもしっかりされた方で、頼りになると思いました。しかし、国と政治家はやると決めたら、隠し、ごまかし、ウソ、何でもやります。理屈は通らないと思っていた方がいいです。準備書がでた時点では手遅れです。計画変更を実現するためには国や政治家以上のがむしゃらなエネルギーが必要です。首長選挙も大切ですが、それはあくまで世論の盛り上がりの結果であると思います。いずれにしても、計画変更は容易いことではありませんが、決して不可能ではありません。私も京都のど真ん中を縦断し、水と緑と土を無茶苦茶にする暴挙に賛同することはできません。私なりにできることをやって参ります。　（宮本博司 元国交省防災課長･元淀川流域委員会委員長）

○私は富山出身なので、今もサンダーバードをよく利用しています。北陸新幹線ができたせいで、金沢止まりで、従来の高岡駅や富山駅に行けなくなりました。それでも金沢～京都間は、2時間余りで、快適に過ごせて満足しております。今のままで十分です。もし、延長されれば、サンダーバードなどの特急を含めて在来線の縮小・廃止が避けられないことになると思います。「学習会」でのお話を聞いて、今回の北陸新幹線延長問題は、究極の無駄遣いと環境破壊で狩ることを確信し、背筋が寒くなりました。わずかな時間短縮のために行う愚行は直ちに中止すべきです。地下トンネルの汚染された残土を大阪湾の夢洲のカジノや万博のために埋め立てに使うとか？…唖然と

します。惨事便乗型大規模開発であり、強欲な巨大資本とそれに恥ずかしげもなく従う政治家への怒りがこみあげてきました。でも、未だ多くの人々は、この計画を知らなかったり無関心であると思います。無謀な計画をやめさせるために更に世論と運動を広げましょう。（雷鳥男）

○自然保護セミナーすごくわかりやすくて良かったです。新幹線の小浜ー京都ルートの議論非公開、公共性の説明なし、経済的合理性なし、建設ルートを明らかにせず環境影響評価を進めている、認可後に行われる調査にすでに予算が確保されているなど、「ありえない」「なんで」「税金のムダ使い」と思うことのオンパレードでした。８割がトンネルで、地下を通るこのルート。残土処理の問題、地盤沈下や地下水汚染は？など心配なことだらけ。今後も目が離せないと思いました。

○長野さんの講演は何度か拝聴していますが、毎回論理的で平易なお話でわかりやすいですね。今、北海道新幹線で起きている事が、そのまま美山や京北の山間部で起きるという現実が、手に取るように理解できます。このことを一人でも多くの京都府民に知らせなければならないと思います。長野さんがお住まいの美山町田歌地区は、何を決めるにも住民全員が一致するまで話し合うそうですが、その上で決定された環境アセスメント受け入れ拒否は、本当に力強いものを感じています。政治が決めた無謀な計画は、政治を変えることでしか止められないという信念は、非常に説得力があります。京都の政治家を選んだのは京都府民なので、変えられなければ府民の責任なのだと思います。

○わかりやすく整理された資料を元に、この計画の問題点、とりわけ、この計画が通ればどんな事が起きるのか、わかりやすく解説していただき、また実際に北海道新幹線工事で起こっていることを、多くの写真を使って示していただいたことで、セミナーに参加した人は皆、「これは絶対になんとしてでも計画を止めなければいけない」という思いを強くしたと思います。しかし、もともとこの計画に反対する人がさらによく理解できただけでは、「計画を阻止する勢力」は変わりません。参加した人が、さらに誰かにこの事実と問題点を広めることを、諦めずにやり続け、京都府民の多くが反対する「声」にならなければ、計画は通ってしまいます。もちろん、京都府だけでなく、全国区の問題ですが。今回のセミナーには、この計画のことをあまり知らなかった、という人も何人か参加していました。街頭でのチラシ配布の効果も少しはありますが、思いつく限りの知人友人、ちょっとでも可能性のありそうな人に、ダメ元で声かけ、の結果だと思います。また、チラシ配布がセミナー参加には至らなかったとしても、手渡す時に、計画のことを知っていますか、と話しかけ（７割以上の人が知らなかった特事実に愕然）広める事ができたことは良かったと思います。やる限りは絶対に諦めず、いろんな人の手を借りることを臆さず、有効だと思うことはやり尽くしたい、そんな思いを新たにさせてくれた長野さんのお話でした。手を打って間に合う時間はもうほとんどないと思います。まさに「今」です。

（左京労山 入江しのぶ）

2023 年　冬山連絡会のご案内

教育遭難対策委員会

　コロナ禍が明け、山小屋のオーバーユースが続き予約が取りにくい状況の中、雪山シーズンを迎えました。
今年も恒例になっています「雪山連絡会」を下記の日程で開催いたします。
開催にあたり、今年度は従来通りの対面集会方式に開催方法を戻します。
各会には、雪山にチャレンジ、雪山を少し体験したい等色々な山行が有るかと思います。是非そのような山行計画を紹介していただいて雪山山行について意見を交わしたいと思います。
山行計画については日程や山域程度で詳細がまだ煮詰まっていない企画でも結構です。是非ご提案・ご参加をお願いします。
提案・参加資格はありません。連盟各会・クラブ山行だけでなく、青年委員会、女性委員会や冬山勉強会等の山行企画も是非お寄せください。
参加希望者の皆さんには山行企画を事前に配信します。

記

日　　時：2023 年 12 月 15 日（金）１９：３０～２１：００

場　　所：連盟事務所２階（対面集会方式）

山行企画：12 月７日（木）までに下記アドレスに送信

参加希望：12 月７日（木）までに下記アドレスに申込

　送信先アドレス：山下：yamasansan326@gmail.com

２０２３年度　クリーンハイク報告　　京都府勤労者山岳連盟

会名	09山名	実施日	山域山名	参　加　者　数	ゴミ重量kg（可燃ゴミ、不燃ゴミ）
右京労山	焼杉山	6/4	西山	18名（うち会員外1名）	8袋23.5kg（可燃2袋8kg，不燃6袋15.5kg）
洛中労山	愛宕山	6/4	大文字山	14名	1袋6.5kg（可燃）
乙訓山の会	愛宕山	6/4	愛宕山①清滝・首なし地蔵・ツツジ尾根・JR保津峡駅	15名	9袋16kg（可燃4袋6kg、不燃5袋10kg）
			愛宕山②清滝・落合橋・小倉山・嵐山	10名	
左京労山	大尾山(梶山)	6/4	瓜生山・比叡山	14名（うち会員外2名、子供1名）	2袋6.5kg（可燃）
WAO亀岡	朝日山	6/4	三郎ヶ岳	15名（うち会員外1名）	2袋5.3kg（不燃物）
明峯労山	瓢箪崩山	6/4	北山瓢箪崩山	28名	1袋4kg（可燃）
舞鶴労山	青葉山	5/28	青葉山	4名（うち会員外3名）	1袋10kg（不燃）
田辺山友会	鷲峰山	5/28	甘南備山	35名（うち会員外10名）	5袋11kg（可燃2袋5kg、不燃3袋6kg）
	鷲峰山				
丹波労山	親不知	6/4中止	（親不知）中止	地域行事で会員が集まらず中止	
やましな山の会		6/4	醍醐3コース	30名（うち会員外2名）	6袋13.6kg（可燃5袋8.1kg、不燃1袋5.5kg）
西山HC ＊京都市ゴミ回収依頼は⑧コースのみ （南春日町バス停南側NTT施設東側）	③野山	6/4	①光明寺東の儀仗池・放生池周辺	17名（うち会員外1名）	2袋7kg（可燃1袋2kg、不燃1袋7kg）
			②小倉神社・天王山・酒解神社・竹の径・桜の広場	9名	1袋1kg（可燃）
			③光明寺・野山三角点・西山キャンプ場・放生池	7名（うち会員外1名）	2袋4.5kg（可燃1袋3kg、不燃1袋1.5kg）
	②大暑山、小塩山		④椎尾神社・サントリー山・天王山・桜の広場	19名	2袋6kg（可燃1袋3kg、不燃1袋3kg）
	⑥天王山		⑤水無瀬の滝・十方山・小倉神社	8名	1袋0.5kg（不燃）
			⑥善峯寺・京青の道・西山キャンプ場・西代里山公園	7名（うち会員外2名）	3袋6.5kg（可燃1袋1kg、不燃2袋5.5kg）
			⑦西代里山公園・立石橋・天王山登山口・金が原口	6名	3袋2kg（可燃2袋1.5kg、不燃小1袋0.5kg）
			⑧大暑山・小塩山	8名（うち会員外1名）	3袋5.5kg（可燃）
山城山の会		中止	（山背古道）中止中止		
福知山山の会	親不知	6/4	烏ヶ岳	13名（うち子供1名）	5袋20kg（可燃1袋4kg、不燃4袋16kg）
舞鶴山遊会	由良ケ岳	6/4	由良ヶ岳	26名（うち会員外8名）	11袋3.4kg（可燃3袋0.13kg、不燃8袋3.27kg）
らくなん山の会	大吉山	6/4	万灯呂山－大焼山	20名	30kg（可燃20kg、不燃10kg）
丹後山の会	大江山	5/27	大江山	22名	13袋110kg（不燃）
伏見山の会	醍醐、日野山	6/4	日野山	25名（うち会員外1名）	3袋6kg（可燃2袋3kg、不燃1袋3kg）
樹の根17組	醍醐、日野山	6/4	乙訓芝山	2名	1袋1kg（可燃）
Lantan		6/4	小倉山	5名（うち会員外2名）	10袋8kg
参加会数 17会	醍醐、日野山	実施日 5/28 6/4	実施コース数 29コース	参加者数 379名	ゴミ量 可燃ゴミ97.23kg 不燃ゴミ212.57kg 合計　309.8kg

2023年度クリーンハイク報告　　京都府勤労者山岳連盟

登山道の状況、特記事項
沢ノ池上北端広場(駐車場）北側の露地にキャンパーが残したと思われる空き缶、瓶が散乱。駐車場で廃材を燃やした跡、大量の釘（5kg）を採取。
登山道では休憩ポイントにゴミが多い。山頂ではビニールやガラス等の小片が無数に埋まっていた。山頂北斜面に風に飛ばされたのかビニール袋等のゴミが散乱。大山出城跡からの下山路に大きなビニールが埋まっておりできる限り撤去。新しく林道ができ倒木はほぼ整理されていた。ゴミは少ない印象だが、よく見るとやはり落ちている。行き交う登山者から労を労う声がかかりアピールの必要性が感じられた。
特になし
不法投棄無し、崩壊場所＝ロープあり。昨年度崖が崩れて危険な状態であった所が、補強され通りやすく整備されていた。近年の傾向として新しいゴミはほぼなく、過去のレジ袋、昔の作業後のトタン板、ペットB等、麓に多い。また多くが休憩する水飲対陣に古いゴミが地中に埋もれて多数。
台風の影響を受けて木が倒れていた。
数年前に同じコースで実施した際には、林道に多くのゴミや泰や等が捨てられていたが、今回は殆ど無く驚いた。
海上教育隊や海上保安学校の学生が訓練の為、登るので、近年ゴミが減少していた。（登山客のマナーも良くなってきている）
多かったのはペットボトル容器。1カ所不法投棄ゴミと思われる、TVや冷蔵庫などが有り、今回は未回収。クリーンハイクの後に芝生広場で応急手当･ロープワークの講習を実施。その後春のふれあいの集いとして会食を行う。
桜ノ馬場キャンプの後のアミなどのゴミ多い。目隠しをして簡易トイレ川沿いで行った。
光明寺周辺への道は草刈りもされてきれいに整備さrていた。2日目の大雨の影響少なく道は乾き歩きやすかった。
倒木はあるが通行には殆ど影響ない。ゴミは大変少なく登山者マナーの向上でもあると思われる。桜の広場にすでにたくさんのゴミ袋が出されていたのは他団体のクリーンハイクでしょうか？
キャンプ場に下る山道で家電等あり（以前からあり）。
天王山山頂にて登山用のカッパ忘れ物あり、西山天王山前の警察に届ける。不燃ゴミに20Lのポリタンク含む。
不法投棄なし、登山道の倒木崩壊なし。水無瀬の滝近くの舗装路②たばこの吸い殻沢山あり、十方山。小倉山迄の登山路は殆どゴミなし。花摘みトイレ後の紙が気になった。
休憩所周辺にゴミ多いが、昨年より減っている。車道と並行するハイキング道周辺は空き缶ペットB、飴包み紙が散見。大沢峠に通じる西山古道傍らに崩壊が進んでいる小屋あり（写真添付あり）、周辺に放棄物散乱。ゴミの内訳：リサイクル可能な缶ペットB1.5kg、汚れ傷み酷くリサイクル不能な缶ペットB含む不燃 4kg。
特になし
特になし
先日の会の総会にてクリーンは中止するとの結論に至る。理由①山背古道は地域の方の努力がありきれいに整備されていること、ゴミが多い所は車道と合流している部分であること。②近年ハイカーの意識が向上し山中のゴミが減り綺麗になっていること、これは地元の方々の整備活動合ってのこと。③当会は半日のみの取り組みとして計画実施されてきた経過があり、担当としてこの条件で適切は山探しを行ったが結局は山背古道が適当ということで実施してきた。④会としてのクリーンハイクは中止になったが個人のクリーンハイクや会員の地元の山の整備活動への参加は今後も継続する。
古いゴミが多い、下草がなくなると浮き上がってくる。
上漆原、丹後由良駅共に双耳峰の鞍部分岐までは登記されたゴミは見当たらない。由良駅コースにおいて、林業と山の会の標識の割れたプラスティックが散見された、ゴミは保母東峰西峰の頂上部分に多く、缶の屑、プラスティックゴミ、ビニールと紙類が見られた。大きなものは瓶、ペットB。砕けたガラス片も多い。登山に支障のある倒木は見られず、早春から関係者や保全の方々の整備が行われたと感じられた。ササ枯れや食害については、以前あった植物が見られなくなる状況はあるとのこと。丹後由良駅から由良ヶ岳に同時に上がられている但馬の山の会の方と頂上で一緒になり、ゴミも回収も協力頂き良いクリーンハイク登山になった。天候や皆様の協力にも感謝の1日となった。
大焼山への登山道、途中の山の斜面はバイクの通行により、掘り削られている箇所が多数あり、バイクの通行規制が必要。ゴミ回収は井手町役場に依頼、了解済み。回収場所は万灯呂山駐車場横。
昨年同じコースで大量の古いゴミを回収したので、今年は少ないかと思われたが、予想外のゴミの量であった。
通行不能な倒木はなし。
飴の袋、マスク、他少々。マスクは捨てたのか、落としたのか、結構落ちていた。
コース上に2箇所の通行止め（六丁峠と清滝トンネル間、落合橋と保津峡駅間）があり、ルートを変更、ゴミ集積場は清滝に変更。 ①小倉山山頂直下に車のタイヤあり→回収出来ず。②六丁峠から保津峡へ向かう嵐山高雄パークウェイのUピンカーブ（110m付近）に段ポール箱に入ったガラクタやガードレール下（78m付近）にクーラーなど大柄の投棄物多数あり→回収できず。 六丁峠で乙訓山の会のメンバーから、上記2箇所の通行止め情報を得た、京都まち美化の当日担当者携帯にも連絡し、「JR保津峡駅並びに落合橋でのゴミ回収は、道路崩壊で通行止めのため不可」との状況を確認した。その際「ゴミ集積場所は清滝駐車場のゴミ箱周辺へ変更」との指示だったので、急遽ルート変更を行い、六丁峠～落合橋～清滝へ向かう事とした。
京都府下や京都市内等、状況は異なるが、倒木は関係者や地域の保全団体の活動により整備されてきている。登山者やハイカーの多いコースの登山道ではゴミの散乱が減っており、登山のマナーが向上していると思われる状況もある。が、途中の休憩ポイントや山頂ではビニールやペットボトル、空き缶、瓶等があり、無数の小片が土に埋まっている状態がよく見られる。またやはり人通りの少ない場所や林道脇に不法投棄があった。またバイクにより山斜面が堀り削られ、通行規制が必要と思われる状況もある。登山マナーは徐々に向上しているが、やはり山にはゴミがあることを再認識し、クリーンハイクが行き交う登山者への自然保護へのアピールにもなることを感じられた。

救助隊事務局

臨時総会一斉メールで出された意見

◎救助隊を新たに専門部に設置するのではなく、既存の教育遭難対策部の中に組み込めないか。（各会１名選出の専門部にすら登録できていない状況の中で、新たに専門部に設置された救助隊に人員を輩出することは難しいと思う）

【教育遭難対策部】…各会１名を要因

①教育担当

・初級登山学校（→卒業後１年は救助隊員登録してもらうことで、知識・体力のある救助隊員を随時輩出できる）

・労山会員対象の無積雪期搬出訓練（→教育遭難対策分析が講師を担う）

②遭難対策

・ヒヤリハット報告（→事務局長からヒヤリハット集計・分析・報告→傾向と対策

を教育担当へ報告し、無積雪期搬出訓練で活かす）

・冬山春山連絡会

・遭難捜索救助訓練（→遭難者（会）は、交流会のように各会の年度持ち回りにしたらどうか）

③救助隊事務局

・年１回の救助隊登録

・救助隊員のみの訓練

・リアル遭難時のフローチャート

・無積雪期搬出訓練への講師参加

・遭難捜索救助訓練への参加

◎長きにわたる救助隊活動に敬意を表します。

◎解散は仕方がないと思います。ただ、セルフレスキューを主体とした訓練は継続して欲しいと思います。

◎解散は、今日の京都労山の力量を反映したものでやむを得ませんね。事務局のみなさんのこれまでのご活躍に敬意を表します。

◎長い間の救助隊活動に敬意を表します。発展的解消になると思います。

――ご意見、ありがとうございました――

第 28 回救助隊総会で出された意見

2023 年　9 月 12 日(火)　　連盟事務所 2F　19：30～
出席者　10 労山　16 人

１．青山隊長
　救助隊事務局が高齢化し、運営にも支障を、きたすようになった。一旦解散し次をどうするかを前向きに皆で協議したい。
２．救助隊についての意見
左京；　解散やむなしとは思うが、救助隊について会の中で話し合って行きたい。
西山；救助隊から教えてもらって居る訳ですが、実働として当会の参加者も少ない。でも会の中で年内にやろうとしている。
洛中；会の中ではやれておらず、議論も出来ていない。
明峯；会の中では、搬出で習ったことを会議の中で年一回行っているが実施としては行っていない。運営委員会の中でも議論されていない。
新救助隊になっても搬出訓練はお願いしたい。
伏見；会の中で、搬出をやり出している。
救助隊の中で勉強して会に持って行く。
田辺；搬出意欲のあった時もあったのですが、今は出来ていない。
Lantan；新しい人が入ってきているが、ホロ-しきれない。
３．坪山理事長より
　会の中で救助隊のことをしっかり話をしてほしい。
　各会から遭難対策部員を１名以上派遣してもらって救助隊組織の中で作る。

京都府連盟の皆様、旧救助隊員の皆様にお礼

1995 年に発足し 28 年間続いた京都府連盟救助隊は 9 月 25 日の常任理事会で解散が承認されました。長い間のご協力に感謝いたします。
今後とも、安全、安心登山を目指して、新救助隊へのご協力をよろしくお願いいたします。

救助隊解散に寄せて

旧救助隊長　青山郁夫

1995 年 9 月に創立され 28 年間活動を続けた京都府連盟救助隊は 2023 年 9 月 25 日に解散しました。

この間、多くの遭難事故に対応して救助隊の本領に寄与してきました。また、労山会員、救助隊員の技術技能向上のために数々の山行や訓練を行ってきました。率先して救助隊を導いて頂きました歴代の救助隊事務局員の方々に厚く御礼申し上げます。

近年、救助隊事務局も他組織と同様に高齢化の波にあらがうことはできませんでした。救助隊は冬山、岩、沢の遭難においても捜索救助に赴く責務があります。そのための二次遭難を招かない技術体力経験が必要です。今の救助隊事務局員は技術は一定の力があり経験は豊富ですが 70 歳前後では長期間に渡る厳しい山中で捜索し救助する体力が限界に達しています。

各種訓練の指導は技術と経験があれば高年齢であっても可能ですが捜索救助は体力が無ければ現場に向かうことは困難ではなくムリで救助隊の責務を果たすことはできません。

限界が見え始めてから救助隊事務局員の若返り、世代交代を図る方策を模索してきましたが、残念ながら救助隊事務局の中では刷新することはできませんでした。救助隊は山の組織としてなくてはならない存在です。そのために、現在の救助隊を解散して今後は常任理事会に委ねるのが最適であるとの考えに至りました。

現在の救助隊が解散しても京都府連盟として新しい救助隊を立ち上げます。今後の新救助隊の活動は今までにない斬新な内容で取り組んでくれる、遭難事故に対しても迅速、的確に行動してくれるものと期待しています。

長い間、救助隊へのご協力、ありがとうございました。重ねて御礼を申し上げ救助隊解散の挨拶と致します。今後とも新救助隊活動へのご理解、協力をよろしくお願いいたします。

2023 年度　京都府勤労者山岳連盟ハイキング委員会

第４回公開ハイキング　天下峰（３４８m）

山行日　　：10 月 1 日（日）
天候　　：曇り
受講生　　：4 名（男性 2 名、女性 2 名）
スタッフ　：CL 奥田（らくなん）SL 野村（西山）近藤（右京）
　　上見（洛中）

コース

地下鉄醍醐駅スタート 9：00⇒醍醐登山口 9：25⇒ユウレイ峠 10：25⇒
パノラマ岩 10：47⇒日野岳 11：00（昼食）⇒供水峠 11：47⇒天下峰 12：05
⇒供水峠 12：31⇒日野登山口 13：35

前日の天気予報では 6 時頃には雨は止むとのことでしたが、家を出るころは傘が必要な空模様で心配しました。スタート時には雨も上がり曇り空で暑くもなく山行には程よい天候になりました。
今回のコースは里山のため、急登、アップダウンもなく他に歩く人とも出会わず

我々だけの山行でした。
開けているところも少ないため眺望もよくありませんが、パノラマ岩からは伏見から遠くは大阪まで見ることもできます。
供水峠からの下りは露出した岩には苔がついていて、朝まで降っていた雨もあり非常に滑りやすい状態でした。そのため岩の上は歩けないので道の横にある土の上を歩く必要ありました。ここの下りは注意が必要です。
また分岐点の案内を見落とし、2 回行き過ぎて戻ることもありました。
日野登山口にて解散の後、30 分ほど地下鉄石田駅まで歩きました。

参加者の声
＊登りは歩きやすかったけど、下りは滑りやすくてスリルがあった。
＊下りがきつかった。
＊登りはなだらかで良かったけど、下りはスリルがあり楽しかった。
＊下りは厳しかったけど、全体的にはちょうどよい。

次回　11 月 12 日　第 5 回：金勝アルプス

京都労山女性委員会　紅葉山行

比良山系　蛇谷ケ峰　南尾根　（９０１ｍ）

棚田百選にも選ばれている、畑の集落から晴れていれば琵琶湖の遠望を眺めつつ、紅葉の尾根歩きです。

日　時　　：11 月 12 日（日）

集合場所　：京都駅湖西線　８時 05 分（8 時 15 分の近江高島行き）快速
近江高島８時 54 分着

コース　　：近江高島駅　９時 4 分発のコミュニティバスで畑まで、畑着
９時 39 分。
畑から横谷峠　～須川峠（ボブフダ峠）～滝谷ノ頭～蛇谷ケ峰
下りは須川峠から畑へ下ります。
※　約５時間の行程ですが、ゆっくり、のんびり歩きたいと思います。
帰りのバスは畑発　15 時 56 分。17 時 21 分発です。

持ち物　　：お弁当、水筒、雨具、帽子、行動食、各自常備薬、地図、ストック、（持っている方）ヤッケ等　日帰り装備

締め切り　：11 月９日（金）　　中止の場合は連絡します。

申し込先　：小室　澄枝（乙訓山の会）　０９０－６９１５－９５６２
（Ｃメールで）
０７５－９３４－６７９５
（FAX、O、K）

又は、各会の女性委員へお申し込み下さい。男性の方の申し込み大歓迎。

※ 氏名、所属会名、携帯電話番号、緊急連絡先を必ずお知らせください。

女性のための山登り講座（初心者編）開講

日時：：２０２３年　9月2日（土）机上学習

PM１３：００～１７：００

此れから山歩きに挑戦しようと考えた方、すでに山歩きをしているが
もっと色々な知識や技術を学びたいと応募した方、１１名の若い方々が
（４０才から５９才）受講してくれました。

受講生　　１１名

女性委員（平田　和子）（進藤　寿美子）（小室　澄枝）
　　（三橋　順子）（北　千恵子）

◎丸々三年の間、山登り講座を（コロナ禍）やむなく中止にしましたが
今回４年ぶりの開催に無事こぎ付けました。

机上学習、開講　　安全に登山を行うための【一歩から、、】

★山登りの服装と装備、持ち物等　　講師（小室澄枝）
○山の服装や装備では講師がモデルと成り山の服装を見てもらい、個人装備の説明、実物を広げ要点を話ながら装備を見てもらいました。

★山歩きの基本、歩行技術　　講師（三橋順子）
○山歩きの基本ではフラットフィッテイングに心がける、山際や谷側でのすれ違いに気を付ける。下調べを行い（地図やネットで危険個所の把握）安全に山歩きが行えるように学んで頂きました。他、休憩の取り方等

★山のマナー、自然破壊は最小限に　　講師（北千恵子）
○山のマナーでは登山道で使うストックで斜面を広げないこと、花や木を手折らない、携帯トイレや、花摘み、ゴミ持ち帰り等、登山中のエネルギーの消費量や行動食や非常食の違い等、講義しました。

★応急手当、捻挫、骨折の手当、動物による咬創　講師（進藤寿美子）
○応急手当では、突然の転倒や滑落で捻挫、骨折で怪我をした場合、止血方法、三角巾での応急処置方法を行い、又、頭、手、足首の手当の仕方を二人一組に成り学んで頂きました。動植物の咬創、危険回避等短い時間でしたが講義しました。

★読図、登山における地図の活用　　講師　（平田和子）
○１／２５０００地形図（京都東北部）を用いて磁北線の引き方やコンパスで正置の仕方、等高線（主曲線や計曲線）の読み方、尾根や谷の見方、現在地の確認や記号等学んで頂きました。

記　平田和子

京都労山女性委員会　山登り講座実技　第２回

比良山系　　権現山（９９６m）　蓬莱山（１１７４m）

参加者　受講生　８名
　　女性委員４名　CL 小室澄枝　SL 平田和子　進藤寿美子　三橋順子

実施日　　２０２３年　９月２３日（土）（快晴＆強風）
コース　　出町柳から７時 45 分発京都バスにて平下車、車道を少し引き返し登り口の反対側で登山準備をする。
登り口９：００――アラキ峠１０：００――権現山１０：５０、１１：０５――ホッケ山１１：３５――小女郎峠１２：０５小女郎池に。
小女郎池畔にて昼食。出発１２：４０――蓬莱山△点１３：１６――打見山山頂１３：５７。　下り始め 14：00――車道にて解散１６：３５――ＪＲ志賀駅着１６：５０　　歩行約７時間 50 分でした。

報告　　昨日の雨も上がり、まずまずのお天気になりました。ヤマビルへの備にスプレーやらテープで足首補強してゆっくり杉の木立を登る。
小さいながら茶色いヤマビルを数匹確認する。幸いにも取りつかれた人はいませんでした。
アラキ峠で一休み、権現山までは急登になるのでゆっくりと登る。
高校生の一団に追い抜かれながら、たどり着いた権現山の頂上では一望に見渡す琵琶湖に歓声が上がります。少し風が出てきたけれど青い空に白い雲、心地良い風はまさに初秋です。アップダウンを繰り返してホッケ山の頂上に立つと、先ほどの権現山が低く見え、景色の方も雄大になってきました。
そのぶん風の強さも半端なく強くなって来ました。その風をよけるべく小女郎池に降りると風は少し穏やかなので、ここで昼食とする。伝説の池は蒼く澄んで気持ちの良い所でした。蓬莱山の山頂では、ますます風は強く無料のリフトに乗るつもりでしたが停止となってしまい残念！　打見山からはゴンドラでらくちん下山も可能だが皆さん歩いて下ると言う。因みにこのゴンドラ片道 1900 円。石ころゴロゴロのキタダカ道の急坂を何度か休んで下りきりました。全員無事の下山に皆さんのホッとした顔はやったー！！　の笑顔に輝いて見えました。　お疲れ様でした。

蓬莱山

実技①　・読図山行（大文字山）

日　時：　2023 年 9 月 10 日（日）晴一時雨

目　的：歩行技術を身に着け、地図の基本を確認する。

目　標：地形図・コンパスに慣れ地形の手がかりに現在地を確認しながら歩くことの大切さを理解する。尾根と谷を意識して現在地を確認する。

参加者：受講生 6 名　女性委員：進藤 CL（洛中）、平田 SL（樹の根）、北（西山）
小室（乙訓）、三橋（右京）5 名　全体 11 名

コースタイム：疎水公園出発 9：30 →諸羽山 9：50→柳山 10：15→蔭山 10：50→送電線①→送電線②→分岐 11：10→P381→雨社（昼休憩）→大文字三角点 13：10→京都トレイル→大日山 14：00→七福思案処 14：30→変電所→鉄塔の巡視路→疎水緑公園着 15：15　　行動時間約 5 時間 35 分　距離 8.8K

9 月 2 日の机上学習から一週間。今回は、山の歩き方と読図、山科駅から疎水公園に向かいミーテイングを行う。地図上でコンパスを合わせ整地を行い進行方向を確認。「あれ、これであってます」などと言いながら全員で進行方向を北に取りポイントを標識で確認。安朱尾根の分岐にからは、受講生 2 人組で先頭を歩いてもらう。ここからは「連れていってもらえる」から受講生が主体で、自分達で考えて歩いてもらいました。

登りは北を目指すが、下りは南に方向が変わると陥りやすい南北逆転体験、七福思案処では目の前の何本もある登山道に惑わされたりしながらもコンパス操作も板につき無事疎水緑公園に到着。先頭歩きの緊張が解けた皆さんの笑顔が素晴らしかった。

雨社から大文字山に向かう時大粒の雨に降られたが雨雲も逃げて行った。

諸羽山への急登

大文字山　山頂

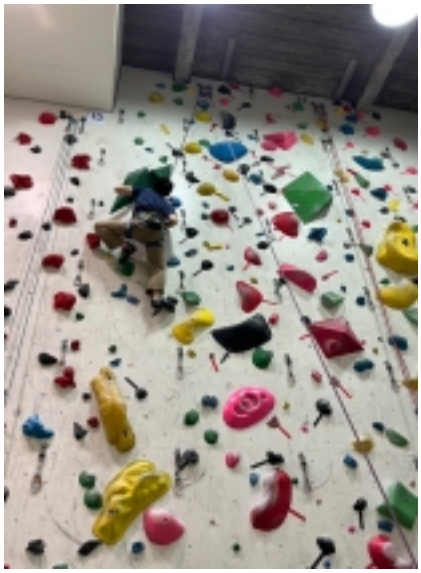
青年委員会・クライミング体験会　報告

丹後山の会　川端　純子

机上講習（Web）　２０２３年９月　４日（月）２０時～
実技講習　　２０２３年９月２４日（日）

参加者　青年委員会３名　（実技はビレイヤー２名依頼）
目的　　クライミング体験と青年層の交流

クライミングをやってみたいと思っている人向けにクライミング体験会を行いました。Web での机上講習でクライミングについてや安全意識、道具の説明、ロープワークなどを動画を見ながら学習しました。
実技講習はＤボルなんばにて、トップロープで高さや登ることに慣れることを目的に行いました。腕が疲れても若いだけにすぐに回復し、果敢に何度もチャレンジされていました。最後にはリードにチャレンジされる方もおられました。日曜日でしたが、天気が良かったこともあり、空いていて快適な室内でクライミングを楽しめました。久しぶりの青年委員会企画で若い方々と交流ができてよかったです。



京都府連盟登山道倒木整備 ―大文字山を整備しよう

これまで登山道を使った感謝の念と恩返し、多くの登山者の安全のために

安祥寺上寺跡左俣登山道の整備、順調に進んでいます。倒木整備は楽しいです。是非、一度、参加して見て下さい。

これまでと同様に参加者の力量に応じて、力のある人はノコギリで倒木伐採、大木運搬、力のない人は小枝切り、小枝整理、声援と分担して行いますので誰でも参加できます。ご安心下さい。ケガをした場合は労山基金も対象になります。

登山道整備は京都大阪森林管理事務所の承認を得ています。

みんなで頑張って楽しく安全第一で整備しましょう。参加をお待ちしています。

雨天時等は安全のために整備を中止します。

★実施日： 11 月 4 日（土）11 月 5 日（日） 予備日 11 月 8 日
先月号で 11/11、11/12 にしてましたが都合により変更しました。
12 月は 2 日は連盟企画、3 日はやましな山の会例会で行います。
雨天予想の場合は前日の 19 時までに判断して中止のみ連絡します。

★申し込み締め切り：実施日前の月曜日

★集合場所：JR 山科駅改札口付近 9 時 00 分（9 時には出発します）

★参加申込先：連盟登山道整備担当 青山郁夫
080-3797-4392 携帯メール 2382m.ikuo1025@ezweb.ne.jp
個々か会でまとめて申し込んで下さい。留守宅（緊急連絡先）も教えて下さい。

★参加条件：労山基金を含め山岳保険加入者

★持ち物：カッパ、ヘッドランプ、レスキューシート、タオル、安いゴム手袋（なければ軍手）、お茶、お弁当、救急薬品 ヘルメット（必携）、ノコギリ（なければお貸しします）、長靴（任意）、スパッツ、虫除けスプレー等

★共同装備：ロープ、ビニール紐、カラビナ、サムスプリント

★その他

・作業の前には危険予知を相互に行い安全作業に努める。

・木が 1/3 切れたら声を掛けること。1/3 でも突然、木が切れ落ちることがあるので注意！

・木を切る前には切れた木がどちらに落ちるか、跳ねるか常に予想して退避方法を考えておくこと。

・まだまだコロナには注意が必要です。本人や同居家族で微熱、咳、喉の痛み等がある場合は参加を取りやめて直ぐに病院に行って下さい。

大阪労山より、京都労山のみなさんへ

一緒に捜索訓練しませんか！

ココヘリとドローンを使った捜索訓練

ココヘリは、遭難者の居場所を電波を使って、 捜索する側が「探し出せる」、唯一の手段です。

ココヘリの会員数は約５万人（2023 年８月時点)。多くの人が利用しているように思えますが、全登山人口からみると、ほんの一部です。

今回、大阪労山救助隊では、ココヘリのドローンサーチのオペレーターの方にご参加いただきドローンでのココヘリの捜索デモを行います。

ココヘリに加入されている方はご自身が普段携帯している端末が親機にどのように捜索され発見に至るのかを実際に見ることが出来数少ない機会になりますし、現在、ココヘリに加入されていない方にとってもココヘリの有用性を知っていただける機会になると考えます。

こんな機会はまずありません。皆様の参加をお待ちしております。

■日時：１１／１１（土）８：30～14：00 を予定しています

■集合場所：千刈ダム駐車場広場（変更になる可能性があります）

■訓練場所：大岩ヶ岳周辺（変更になる可能性があります）

■参加資格：労山会員であればどなたでも参加いただけます

■内容　ドローンを使用してのココヘリ捜索のデモなど

■申し込み先： 11 月４日までに下記 URL にアクセスし必要事項記入のうえ送信して下さい。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfsEgVwE9V-jLzZrvQJXZF-YZkCImu7h-UHuEpZR3WqsxU_QQ/viewform

■その他ご質問など

下記メールアドレスお願いします。

owaf.rescue@gmail.com

メールの件名：「捜索訓練」

氏名・所属会をお願いします。

大阪労山救助隊・捜索訓練担当　上村光司

第29回　近畿ブロック「雪崩事故を防ぐための講習会」参加申込書

送信先：近畿ブロック雪崩講習会事務局　　kinki.nadare29@gmail.com

＊下記太枠内の　　の項目をすべて記入してください。

＊エクセルデータでメールに添付して送ってください。　申し込みは10月10日より受け付けます。

＊参加申込書に記入された情報は、雪崩講習会運営にのみに使用します。

受講クラス 参加クラスに ○をして下さい。		基本クラス（理論講習+ビーコン講習+実技）		雪崩講習 受講有無		有		年度 受講	
		~~中級クラス（理論講習+ビーコン講習+実技）~~ ~~＊基本クラス修了者のみ~~						年度 受講	
		理論講習+ビーコン講習						年度 受講	
		理論講習のみ				無			
フリガナ			性別		男	生年月日 （西暦）			
氏　名					女	血液型		型 RH	
住所	〒		電話	携帯		自宅			
所属山岳会			所持の ビーコン		有	メーカー			
所属連盟						製品名			
受講中の登山学校		有							
		無			無		購入予定		
登山経験	積雪期	年					所属会・知人に借りる予定		
	無積雪期	年					貸出希望		
緊急連絡先	氏名		続柄		電話番号				

積雪期登山の経験（山域・ルート）及び、同リーダー経験の有無を書いて下さい。（雪崩判断をした事があれば書いて下さい）

自身や仲間の雪崩の体験や、雪崩事故の救助の経験がある方は、具体的に書いて下さい。

受講に関しての希望があれば書いて下さい。(実技講習時、バス乗車場所も記入ください)

地方連盟　役員　各位

2023 年 9 月 28 日
日本勤労者山岳連盟
事務局長　小池藍

2024 年労山カレンダーのご注文について

いつも労山事務局業務へのご協力ありがとうございます。
24 年版カレンダーが間もなく完成します。下記を参照のうえ申し込み下さい。10 月下旬から順次発送します。

ＷＥＢ申込みフォームから注文をお願いします
下記の申込みフォームから入力・送信してください。
カレンダーは、従来、地方連盟で部数を集約していただき、まとめてご請求してきました。定価 1000 円のところ 700 円、送料は１送付先は無料です。昨年同様、会・クラブからの注文も受け付けます（送料は一部ご負担ください）。
ご請求は、カレンダー販売終了後に地方連盟ごとにまとめてお送りします（12 月中旬以降を予定）。

【地方連盟からのご注文】
カレンダー価格：700 円
送料：１宛先無料　　※２宛先目からは各 500 円を頂戴します。

【会・クラブからのご注文】
カレンダー価格：700 円
送料：１宛先につき 500 円

例えば･･･Ａ地方連盟が５部、Ａ地方連盟の加盟団体Ｘが３部、加盟団体Ｙが 10 部を注文したとすると、Ａ地方連盟に（カレンダー代金 700 円×18 部）＋（送料 500 円×２件）合計金額をご請求します。

申込みフォーム
https://ws.formzu.net/fgen/S55522249/
※労山ホームページからもアクセスできます。
一般販売（１部 1430 円　送料・税込み）は、
申込みフォームからは受け付けていません。

★メールアドレスがない場合は、FAX 番号 03-3235-4324 へお申込みください。
FAX には、①地方連盟または会・クラブ名　②氏名　③ご住所　④電話番号　⑤注文部数を明記してください。

2024 年版 労山カレンダー申込書　　年　月　日

<table>
<tr><td>地方連盟
（会・クラブ名）</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>申し込み部数</td><td colspan="2">発注部数：　　部</td></tr>
<tr><td rowspan="4">送付先</td><td>〒　　-</td><td>電話番号：</td></tr>
<tr><td colspan="2">住所：</td></tr>
<tr><td colspan="2">氏名：</td></tr>
<tr><td colspan="2">会員番号：</td></tr>
</table>

登頂順二百名山登頂記録㉖　　乙訓山の会　小川　繁

№133　仙ノ倉山　2026m　　2007.9.21(金)～23(日)単独山行

9.23(日)　平標山の家より平標山～仙ノ倉山山頂往複

今回は百名山・谷川岳・苗場山と近くの二百名山・仙ノ倉山に登る予定で出かけた。谷川岳登頂の後平標山の家に泊まり明日の山行に備える。

21(金)17:20 発～給油を済ませいざ谷川岳へ。

22(土)00:50 谷川岳ロープウェイＰ着。水上のコンビニで買った弁当とビールで夕食。その後はとにかく眠る。夜中に目が覚めれば満天の星。

06:00 起床。有料Ｐへ移動し西黒尾尾根を登る。ロープウェイで下山し平標山の家泊。小屋主を含め同宿の７人で大いに飲み、語る。

23(日)05:55 平標山の家発～06:40 平標山を経て仙ノ倉山に向かう。

07:30 仙ノ倉山着。この先はエビス大黒の頭を越えて谷川岳に続く長い稜線で素晴らしい眺望らしいが、残念乍ら雨で何も見えずただひたすら足元を見つめ乍ら往復。５～８月の花の見頃にはショウジョウバカマに始まりシャクナゲやハクサンイチゲ・ハクサンコザクラ・ニッコウキスゲ・シモツケ・ヤナギラン等が次々と咲くそうで山と渓谷社の花の百名山に選ばれている。

08:20 平標山に戻る。ここから西へ進めば松手山を経て火打峠に下り、その先には苗場山が続いているが、車を平標山の登山口に残しているので縦走が出来ず急ぎ下山して苗場山へ向かう。

08:50 平標山の家に戻りお礼を言って登山口に戻りかぐら・みつまたスキー場を和田小屋Ｐまで車で移動し苗場山に登る。山頂付近は池塘の点在する湿原で花の百名山にも上げられる美しさだが雨では仕方がないので小屋をキャンセルして下山し帰宅。11:58 には帰宅出来た。

雨の山行は眺望も無くただ辛いだけになってしまうが、その時は下見に来たと思う事にしている。「いつかまたおいで」と山が宿題をくれたと考えて、再び訪れるのを楽しみにしている。

この１週間後に谷川岳に登った時、谷川岳～万太郎山～仙ノ倉山～平標山へと続く稜線を見ていつか行きたいと言う思いを改めて強くした。

2024 年に土合から登り谷川岳～蓬峠～朝日岳～白毛門～土合へラウンドする計画だが、その時に併せて縦走出来ないかと苦慮している。上毛高原駅から猿ヶ京温泉を経て法師温泉迄行くバスや、越後湯沢から火打峠を経て苗場スキー場・浅貝へ行くバスがあるが、浅貝―法師間が繋がらない。誰かに車を回送して貰えれば良いのだがそう都合の良い様には出来ないものだ。

№152　戸隠山　1904m　　2007.11.16(金)～18(日) 単独山行

11.17(土) 戸隠牧場登山口より戸隠山を経て高妻山へ縦走

16(金)自宅発～上信越道・信濃町 IC～戸隠牧場登山口(車中泊)
17(土)登山口～戸隠神社奥社～戸隠山～高妻山～登山口(10h29)～戸隠 YH 泊

16 日(金)

17:01 自宅発～給油を済ませ上信越道・信濃町 IC～戸隠山へ向かう。

22:57 戸隠牧場へ着いたが登山口が見つからずキャンプ場の人に聞く。戸隠牧場登山口Ｐで車中泊とし夕食・仮眠。外は真っ白い霜。夜空は冴え冴えとして満天の星。生まれて初めて見る星の数々。今回はシュラフを２重にして防寒したので足は大丈夫だが、夜中に頭・顔が寒くて目が覚めた。流石にお茶が凍った。

17 日(土)

05:48 起床。サンドイッチと缶コーヒー・バナナ等冷たい物ばかりで朝食。

06:18 登山口Ｐ発～牧場を横切り、ささやきの小径を通って戸隠神社奥社へ向かう。ブナや落葉松の樹林の中の静かな小径を１時間程のコース。

07:08 戸隠神社奥社登山口へ隋心門から杉並木の中を通って到着。折角なので奥社も観光する。背景に戸隠山の断崖絶壁が壁の様に立っている。

07:24 戸隠神社奥社発～奥社の裏からいきなりの急登。数日前に降った雪や霜柱が残っていて滑って歩き辛い。五十間長屋・百間長屋と呼ばれる窟を通る。昔の行場なのだろう。途中から岩場になり鎖の連続。流石に中々厳しい山だ。極め付けは「落ちたら即死」とパンフレットに書かれていた通り「蟻の戸渡り」(塔渡・剣の刃渡)と呼ばれる両側が断崖の幅 30cm 程の道。幸い風が無く凍ってもいなかったので何とか渡れたがエスケープルートも無い。ここを高妻山を先に登り、疲れた体と足で下りに歩くのは無理。登りにして正解だった。

08:50 八方睨。円形の標示板に刻まれた山名は凍り付いた雪に覆われて見えないが、西には白馬連峰、北には妙高山・火打山もすっきりと見える。西岳(戸隠山系の最高峰 2053m)のピラミダルな山容が青空にスックと聳え美しい。山々は全て雪化粧をしている。

09:04 戸隠山山頂。眼下に奥社や牧場から続く小径や丸山、その後ろに飯綱山～黒姫山～妙高山～火打山～雨飾山と雪を被った山々が連なり最高の眺め。

09:44 九頭竜山頂。戸隠山からは右側が崩れ落ちた狭い稜線が続く。奥社への崩れを防ぐため鉄柵が幾つも並んでいる。中には雪の重みで大きく折れ曲がっている物もある。この辺りは 10cm 程の積雪。１人すれ違う。

10:29 一不動避難小屋。(ここまでで 4h11)。奥社登山口の看板には「周りにティッシュが散乱し悪臭がひどい」と書いてあったが今は綺麗だった。閉山祭を済ませたばかりだそうなので地元の人達が綺麗にしたのだろう。ここから右へ下ると戸隠牧場へ 90 分と書いてある。ここから高妻山へ向かう。

その後会の秋合宿で戸隠を再訪しキャンプ場に泊まった。この時は雪が無く美しい紅葉の中楽しく山行し良い思い出になった。

11 月号案内

表紙の写真　表紙の言葉　　高野　寛さん（伏見山の会）

「南アルプス・間ノ岳から富士山遠望」

2019 年 8 月のお盆休みに、初めて本格的な縦走登山のリーダーをすることになり、長年の夢だった南アルプスの白峰三山縦走を計画することにした。

北岳・間ノ岳・農鳥岳と 3000m峰をつなぐ縦走路はここにしかないそうである。

しかしその夏は、台風が３つも立て続けに発生して、縦走当日は南アルプスを直撃する、との予報に出発直前まで悩まされた。

だが、強い高気圧のおかげで台風の北上が遅れ西に進路を変える、とのことで夜出発することにした。

二泊目の北岳山荘を早朝に出発して、3000mの縦走路をハイテンションで歩きながら間ノ岳から見た富士山が、今までで一番印象に残る景色となった。

そしてこの後、間ノ岳山頂から農鳥小屋に向かって下りてゆく途中で「日本三百名山」踏破中の田中陽希さんと出会い、元気をもらって４人のメンバー全員大門沢小屋まで一気に歩ききることができた。

いろんなことがあったが、ベテラン参加者に助けてもらい、非常に思い出深い縦走登山となった。

（伏見山の会　高野）

＊愛宕山表参道七合目（標識 29 番付近）で蜂に襲われる被害が報告されています。
愛宕山表参道を登山される方は十分注意してください。

＜お知らせ＞

「提案　情報　投稿」原稿を募集しています。連載企画の内容でも OK です。
労山会員の方やお知り合いで連載を引き受けてくださる方をご紹介ください。
例えば「野鳥に詳しい方」「高山植物、野草に詳しい方」「コケやきのこに詳しい方など会員みなさんに知識を広めてくださる方を募っています

【投稿先】　京都府勤労者山岳連盟　機関誌委員会　高野　寛
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　hirossan-1954@nifty.com
＊原稿サイズ　B５版　１行約 36 字　１頁約 36 行
＊字体　ＭＳ明朝体　１１Ｐ　余白　上、左、右　各２０㎜　下　２３㎜

2023年　京都府連盟　月間予定表

１１月　（霜月・NOV）		
1	水	
2	木	
3	金	文化の日
4	土	
5	日	
6	月	自然保護委員会
7	火	事務局長会議
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	大文字山登山道整備
12	日	公開ハイク・金勝アルプス 女性山行 比良 蛇谷ヶ峰 大文字山登山道整備
13	月	常任理事会
14	火	
15	水	
16	木	冬山勉強会　「冬山の幕営技術」
17	金	やまびこ利用日
18	土	
19	日	ハイク委山行 松尾山～烏ヶ岳～沓掛山
20	月	京都労山印刷　ハイキング委員会
21	火	
22	水	女性委員会
23	木	冬山勉強会　実技：アイゼントレ 勤労感謝の日
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	常任理事会
28	火	山の気象勉強会
29	水	
30	木	

１２月　（師走・DEC）		
1	金	
2	土	近ブロ 雪崩講習会 理論講習
3	日	近ブロ 雪崩講習会 ビーコン講習
4	月	自然保護委員会
5	火	事務局長会議
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	冬山勉強会　アイゼントレ・金毘羅
11	月	常任理事会
12	火	
13	水	
14	木	冬山勉強会 机上：雪崩の危険性・行動判断
15	金	
16	土	冬山勉強会　冬山テント泊・歩行訓練
17	日	冬山勉強会　木曽駒ヶ岳（うどんや峠コース）
18	月	京都労山印刷　ハイキング委員会
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	常任理事会
26	火	
27	水	女性委員会
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	